

「第二次羽村市生涯学習基本計画（案）」に関する 意見公募手続の実施結果について

「第二次羽村市生涯学習基本計画（案）」の意見公募手続を令和 3 年 12 月 1 日から令和 4 年 1 月 4 日まで実施し、1 人の方から 17 件の意見がありました。受け付けた意見の要約と市の考え方をお知らせします。

No.	受け付けた意見（要約）	市の考え方
1	第 1 部 第二次羽村市生涯学習基本計画策定にあたって 第 1 章 計画策定の背景 P2～P3 「1 計画策定の趣旨」「2 生涯学習の意義」については、わかりづらい。P8～P21 のように、サブタイトルを付けるなど、読み手に対してわかりやすい表記にしてもらいたい。	「計画策定の趣旨」については、平成 24 年以降の羽村市における生涯学習振興施策について、時系列にまとめ改行しながら説明させていただき、第二次計画を策定する趣旨について記述しています。 また「生涯学習の意義」については、法や条例、中央教育審議会答申に示されている生涯学習の理念と、SDGs の考え方を、内容ごとに改行して記述しています。 それぞれの節をさらに分けてサブタイトルを付けることは、前後の内容のつながりがわかりにくくなってしまうと考えます。
2	第 2 章 生涯学習を取り巻く状況 P5～P7 「1 変化する社会情勢」の「(1) 令和 2 (2020) 年 1 月以前の社会状況と新型コロナウイルス感染症の影響」の本文を 2 つに分ける。 ●前半の「羽村市生涯学習基本計画策定時の平成 24 (2012) 年 3 月・・・」を、「(1) 少子高齢化・人生 100 年時代とグローバル化」とし、後半の「令和 2 (2020) 年初頭、新型コロナウイルス感染症が世界を席卷し、・・・」を、「(2) 新型コロナウイルス感染症の影響」とする。以降、番号をずらして (4) までとする。	令和 2 年 1 月から 2 月頃の社会情勢は、それ以前とそれ以後を大きく分ける世界規模の大きな影響と捉えています。いわゆる「コロナ禍」に突入する前の状況を連続した流れの中で記述し、次項の羽村市への影響につなげる構成としています。
3	「GIGA スクール構想」「リカレント教育」「ハイブリッド・ラーニング」については、語句の説明をつける。	難解用語、専門用語については、初出箇所にアンダーラインを付して、資料編の中に「用語解説」を掲載して内容を説明する予定です。
4	P22 「5 市民ワークショップ」 市民の「学び」に関しての意見について 3 回開催されたワークショップの参加者は少ないものの、ここに記されている意見は、次ページ以降のアンケート調査より貴重で大事なものであると思う。	市民ワークショップにおける学びに関するご意見については、第二次計画策定の議論の中で参考とさせていただきます。

No.	受け付けた意見（要約）	市の考え方
5	P23～P29「6 令和2年度羽村市市政世論調査」について 基本計画策定にあたり、市民の意見を充分生かした計画にしてもらうために、調査対象者をより具体的に①年齢、②性別、③地域、④対象人数等も付け加えての調査結果としてもらいたい。	第二次計画後期基本計画策定時にも市民アンケート調査を実施する予定ですので、その際の参考意見とさせていただきます。
6	P32「8 羽村市生涯学習基本計画後期基本計画の取組みと成果」について ●書き方（まとめ方）をわかりやすく、見やすく、読みやすくする。 〈例〉12行目「循環型生涯学習の推進」、26行目「生涯学習を通したまちづくり」について、太字にするなど、ひと工夫してもらいたい。	第二次計画全体で読みやすさ、見やすさを意識して編集してまいりますので、参考意見とさせていただきます。
7	P33「基本施策1 家庭・地域で育てる子どもたちへの支援」について ●平成29（2017）年度子育て世代包括支援センター「羽っぴー（はっぴー）」を開設とあるが、「羽っぴー」という名称は聞いたことがあるものの、内容・場所等は全く知らないもので、簡単に説明を付け加えてもらいたい。	難解用語、専門用語については、初出箇所にアンダーラインを付して、資料編の中に「用語解説」を掲載して内容を説明する予定です。
8	P33「基本施策2 子どもたちの生きる力の育成」について ●「ユニバーサルデザイン」「はばたきファイル」の語句の説明をつける。 ●小中一貫教育で、「羽村学（郷土学習）」「人間学（キャリア教育）」「親学（家庭教育講座）」について具体的な内容も付け加える。羽村学はわかるが、人間学、親学について、回数や参加人数、意見など、実施してどうであったのかを示してほしい。交付金も出ている教育活動なので特に説明してほしい。	難解用語、専門用語については、初出箇所にアンダーラインを付して、資料編の中に「用語解説」を掲載して内容を説明する予定です。 事業の実施内容については、羽村市生涯学習基本計画後期基本計画は、主な計画事業として137件の事業を掲げているため、本節では個別事業ごとの取組みと成果ではなく、総括的にまとめて記述しています。
9	P35「基本施策7 学習環境と支援体制の充実」について、意味が充分伝わらない気がすることから、例として以下を提案する。 ●6行目から8行目「『つなぐ』は後期計画の目標にも掲げられた循環型の生涯学習を実現するために最重要な仕組みであることから、後期計画での取組みを活かしながら第二次羽村市生涯学習基本計画へ継続していきます。」について 〈例〉「『つなぐ』しくみづくりは、第一次後期基本計画の目標にも掲げられた循環型の生涯学習を実現するための最重要施策であることから、第一次の後期計画での取組みを活かし、さらに第二次羽村市生涯学習基本計画へ継続していきます。」とする。	ご提案いただきました見直し案につきましては、市の計画案と方向性を同じくするものと考えます。 「後期計画」の表記に関しては、今次計画は次数表記をしていませんので、「後期基本計画」に修正します。

No.	受け付けた意見（要約）	市の考え方
10	第2部 第二次羽村市生涯学習基本計画 第2章 羽村市が目指す生涯学習の姿 羽村市が目指す生涯学習の姿「人とつながる 豊かな心を育む 未来にひろがる はむらの学び」について はむらの学びではなく、もっと良い言葉はないのかと思う。羽村市市民とか、それこそグローバルな視点での言葉はないのでしょうか。	「羽村市が目指す生涯学習の姿」については、「人とつながる」「豊かな心を育む」「未来にひろがる」のそれぞれが「はむらの学び」につながっており、グローバルな視点は特に「未来にひろがる」で表現をしています。
11	「人とつながる」について 「多様な市民が共に学び合い、学びを通じて人と人、人と地域がつながり、また、今の世代から次の世代へと学びがつながる生涯学習を目指します。」から 「多様な市民が多様性を認め合い、学びを通じて人と人、人と地域がつながり、今の世代から次の世代へと学びがつながる生涯学習を目指します。」に見直しては。	ご提案いただきました見直し案につきましては、市の計画案と方向性を同じくするものと考えます。
12	「豊かな心を育む」について 「自らが自らを認める思い、他者を認める思いが育まれることで、多様な価値観を受け入れることのできる豊かな心が醸成されていきます。市民一人ひとりがさまざまな学習活動や社会参加活動などを通じて、楽しさを実感できるとともに、自己肯定感を高め、心の豊かさを育むことができる生涯学習を目指します。」から 「自らを認め、他者をも認める思いを育むことで、多様な価値観を受け入れることのできる豊かな心が醸成されていきます。市民一人ひとりがさまざまな学習活動や社会参加活動などを通じて、自己肯定感を高め楽しさを実感しながら、心の豊かさを育むことができる生涯学習を目指します。」に見直しては。	ご提案いただきました見直し案につきましては、市の計画案と方向性を同じくするものと考えます。
13	「未来にひろがる」について 「新しい技術や社会を背景にした学びの環境を整備し、市民一人ひとりがそれぞれの学びを実現できるようにするとともに、主体的な活動によりその学びが地域に大きく広がり、ヒトやモノが大きく成長し、未来にひろがるような生涯学習を目指します。」から 「新しい文明社会を見据えた、学びの環境を整備し、市民一人ひとりがそれぞれの学びを実現できるようにするとともに、主体的な活動の学びが地域に大きく広がり、人を中心とした学びの環境が大きく成長していけるような生涯学習を目指します。」に見直しては。	ご提案いただきました見直し案につきましては、市の計画案と方向性を同じくするものと考えます。

No.	受け付けた意見（要約）	市の考え方
14	第3部 第二次羽村市生涯学習基本計画前期基本計画 第2章 基本施策と施策 基本施策1 子どもたちの育成 施策1 家庭教育の支援 P45「事業の方向性」の「○保護者同士の交流機会の充実」について、祖父母への教育、両親教育も盛り込んで。	貴重なご意見として参考にさせていただきます、具体的な個別事業については、年度ごとに作成する「実施事業計画」の中で検討していきます。
15	施策2 子どもたちの教育の推進 P46「方針」の以下の文章に下線部の加筆を提案する。 「9年間の義務教育を系統的に継続したきめ細やかな指導を積み重ねることで、基礎的・基本的な学力を身につけさせるとともに、自立した子どもたちを育て、大きく変化する社会の中で、<u>地域の大人や市民が協力して子どもたちに生きる力の土台をつくります。</u>」	施策2については、主に学校教育についての施策をまとめてありますので、地域の大人等と子どもの関わりについては、施策3、施策4、施策9などの施策での具体的な事業の中で実施していきます。
16	基本施策3 多様な学習の展開 施策7 スポーツ・レクリエーション活動の推進 P57「事業の方向性」の「○障害者スポーツの普及啓発」に、知的障害のある人たちに様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を推進する「スペシャルオリンピックス」についても明記してもらいたい。	貴重なご意見として参考にさせていただきます、具体的な個別事業については、年度ごとに作成する「実施事業計画」の中で検討していきます。
17	第3章 計画の推進と進行管理 2 計画の進行管理 全体的に文章がわかりづらい。生涯学習基本計画は広く市民に開かれて展開されていくものであり、わかりやすい表現としてもらいたい。 〈例〉「羽村市教育振興基本計画を内包」をもっと砕いた表現にしていく。	ご意見を参考に、わかりやすい記述に改めます。